

バンコクに駐在事務所

岐阜信金、12月開設 初の海外拠点

岐阜信用金庫は28日、初の海外拠点としてタイ・バンコク市に駐在員事務所を12月11日に開設すると発表した。県内の信金が海外拠点を設けるのは初めてで、全国では5金庫目。タイを中心に東南アジア諸国連合(ASEAN)に既に進出、進出を検討している取引先企業を対象に、現地の情報提供などの支援を強化するのが狙い。

(高橋友基)

タイには製造業や卸た。

売業など約50社の取引先が進出しているほか、人口が増加しているASEANには今後、新たな市場を求めた進出ニーズの高まりが予想されることから、ASEANの中心に位置するバンコクに事務所の新設を決め

事務所はバンコク中心部のオフィスビルに入居し、派遣職員と現地採用スタッフ各1人を配置。現地の金融・経済情報の収集に加え、既に進出、または進出を検討している取引先に情報提供やビジネスマッチングなどの支援も行う。

駐在員事務所は直接、融資や預金、送金などの金融業務を手掛けることはできないが、2013年に東海財務局から取引先の海外子会社に直接融資する認可を取得しており、日本から直接融資を行うことで海外の資金需要にも対応する。

同金庫では12年に海外ビジネスサポートデスクを設けたほか、14年1月から信金中央金庫バンコク駐在員事務所や、業務提携しているベトナム投資開発銀行に職員計3人を派遣。さらにベトナム投資開発銀行やインドネ

シア国際銀行など海外金融機関4行と業務提携を結び、進出企業支援を強化している。

高橋征利理事長は話す。「東南アジアに進出希望の取引先も増加しており、情報収集などを通じて支援したい」と